

令和5年度 富県小学校 キャリア教育まとめ

○昨年度までの取り組み

本校では、PTAが主催でキャリア教育推進に力を入れており、平成28年度文部科学大臣から表彰されており、この継続的取り組みをさらに発展させていくために、伊那市教育委員会の支援を受けながら、地域に密着した「キャリア教育」、特にアントレプレナーシップ教育」をどう推進するか研究してきた。

昨年度まではPTAの子育て委員会が中心となって、5・6年生を対象に「キャリア教育学習会」を行ってきた。

～令和3年度の取り組み～

まず子どもたちに、興味のある職種についてアンケートを取り、その結果を参考にし、本校保護者から講師をお願いした。講師は①コンピュータ関連・技術者、②シェフ・料理人・パティシエ、③研究者・学者、④スポーツ選手・監督の4つの分野で講演していただいた。

「目標や目的を持つことで、楽しい生き方が見つけれられると思った。」「夢は必ず叶う。夢は叶わなくても、頑張った時間は色々なところで役に立つということ、過程が大事だと教えてもらった。」などの子どもたちの感想から、子どもの学びや未来にかかわる学習会になったと実感した。



～令和4年度の取り組み～

構想や学習会の形態や内容は令和3年度とほぼ同様とし、講師を保護者ではなく、地域から選出した。①シェフ・料理人・パティシエ、②コンピュータ関連・技術者、③ファッション・アパレル系、④研究者・学者の4つの分野で学習会を開いた。子どもたちからは「自分の夢を、誰に何を言われようが『なれると信じる』ことが大切だと思った。」「何事も人間関係が大切だということが分かった。困っている人を助ける活動をしていきたいと思った。」など感想が出た。



～成果と課題～

【成果】

産学官の連携を踏まえ、今回のキャリア教育学習会を企画し運営したことは、学校関係者以外の方々の財産や考え方、生き方を小学生の頃から感じて今後の人生設計の役に立てるような布石を打つことにつながったと思う。P T A役員が参画したり、保護者が参観したりしたことで、子どもの将来を一緒に考えていくきっかけになったと思う。

【課題】

文部科学省から示されているキャリア教育の指針と照らし合わせ、単元展開を一考し、キャリアパスポートにどう反映させ中学校につないでいくか検討したい。

○本年度の取り組み

本年度は、P T A主催の「働くこと」「ありがとう」をテーマとしたキャリアフェスが行われた。今年度は5・6年生だけでなく全校でキャリアフェスに参加した。本来ならば体育館で行うはずだったが、感染症対策のためにP T Aが作成してくださった動画(YouTube)を各教室で見、感想を書くという形態になった。動画の内容は農家・美容師・看護師の3つの分野の方々の働く姿や思いが写されていた。

どの学年も集中して動画を見ることができ、自分なりの言葉や表現方法で感想を書いていた。

～感想～

○動画を見て、「働くこと」について考えたこと、思ったこと

- ・仕事は必ず誰かのためにやっていることなのと思った。
- ・農家さんは、一年間のことをまとめたり、寒いときや暑いときもやったりしている。(全部みんなのため)
- ・仕事は、人を助けることをしている。

○動画を見て、「ありがとう」について考えたこと、思ったこと

- ・ありがとうは魔法の言葉。
- ・良いことをしてくれたら、ありがとうと伝えればさらに仲良くなれる。
- ・ありがとうはその人や、自分もうれしくなる。

○あなたが今、「ありがとう」と伝えたい人は誰でしょうか。また、どんなことをしてくれて、ありがとうと伝えたいですか

- ・お米を安心・安全に作ってくれてありがとう。(おじいちゃんに)
- ・家族のみんな、今まで育ててくれてありがとう。
- ・仕事をしていてくれる人に「ありがとう」を伝える。
- ・ありがとうと言うことが大切だと教えてくれてありがとう。